



8季ぶりVへ勝負の月

はばだけり！
JTサンダーズ広島



久原 大輝

Vリーグが開幕し、早くも6試合を消化した。5勝1敗で首位発進すること



高い3枚ブロックを見せる江川(左)と安永拓弥(中)、アーロン・ラッセルの3選手

とができた。

ロサノ監督が強化してきたスパイクとサーブは高い決定率と効果率を残している。守備面もブロックとフロアデフエンスが機能。ボールがノータッチでコートに落ちる場面が昨季と比べて、格段に少なくなった。

この先3週間の対戦相手はサントリ、パナソニック、名古屋と昨季トップ3の強敵が続く。この3チームは高い個人技に裏付けされた組織力が持ち味で、サンダーズは昨季、3チーム全てに負け越した。「チャレンジャー精神でぶつかろう」でなく、「何が何でも勝つ！」と強い覚悟を持ち、選手とスタッフが一丸となって6試合に挑む。8シーズンのVリーグ優勝に向けて、勝負の11月となりそうだ。

今季のサンダーズは、どこのチームにも勝てる力があると信じている。夏場の厳しいトレーニングを乗り越えた選手自身が、何より手応えをつかんでいるはずだ。(JT広島マネジャー)